

パン教室の女

俺が女子になってから、もうすぐ一か月になろうとしている。

そして徐々に女としての生活も身についてきた。そう、俺は元男だ。ある夜「神」という奴に女にされてしまったのだ。あれは魔法なのか？ 今でも理解不能だ。

LINEで「お前の願いを叶えてやる」というメッセージが来た。女装趣味のあった俺は、それならと思いい「女になりたい」とメッセージを返したのだ。その数十分後に俺の体は女の体に変身していたというわけだ。

困り果てた俺は姉の加奈に相談した。そこで一悶着あったが、結局姉に引き取られる形になり、今は姉のマンションに世話になっている。姉貴は

俺の生活の面倒を見てくれた。女としての人生に慣れていない俺にとっては、非常にありがたいことだった。姉貴に感謝だ。

女装趣味のあった俺にとっては、これこそが本当の女装であるのだ。リアルに女装ができる。女なのに女装と言えるのかどうかはさておいて。

姉貴は今日も仕事で出かけている。俺は一人、姉貴の部屋でパソコンを立ち上げて、いろんなサイトを閲覧していた。何気なく誰かのブログを見ていると、「パン教室」を営んでいるブロガーを見つけた。イメージ画像には自分の顔写真を使用している。三十代半ばっぽい顔だちの可愛い美人だ。

ブログの内容はほとんどがパンに関するものだった。美味しそうなパンの画像が貼られている。自己紹介の欄には、自分で立ち上げている「パン教

室」のURLがリンク付けされていた。主宰者の名前は国本遥、主婦だっ

くにもとはるか

た。プロフィールにはパン講師認定資格や調理師資格など、様々な資格が記されている。

へえ、パン教室か……。俺はパンが大好きだ。試しにそのサイトに飛んでみた。ヘッダーに美味しそうなパンの画像が大きく貼ってある。本格的なホームページだ。内容をよく見ると、どうやら自宅で教室を開いているらしい。住所を確認したら結構近い。車で十分ぐらいのところだ。

パン作りが趣味の若奥様が小遣い稼ぎに自宅を開放して、パン教室をやっているってわけか。俺も女の子になったのだから、こんな趣味もいいかもしれない。男ならちよつと恥ずかしいが、今なら俺も参加できる。

それに自分でパンを焼けたら楽しいだろう。費用もそれほど高くはない。

一回の講習が三千円だ。この金額なら姉貴も承諾してくれるだろう。って
いうか、俺の小遣いで賄える。その夜、俺は姉貴に相談した。